

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■検査内容変更項目

- [2024] ゾニサミド
- [2243] エストラジオール(E<sub>2</sub>)
- [2410] DUPAN-2
- [2470] シアリル Le<sup>x</sup> 抗原(CSLEX)
- [6857] ループスアンチコアグラント〔リン脂質中和法〕

※変更内容の詳細は次頁以降をご確認下さい。

#### ■変更期日

- 2017年11月30日(木)受付日分より

以上

## ■対象項目/変更内容

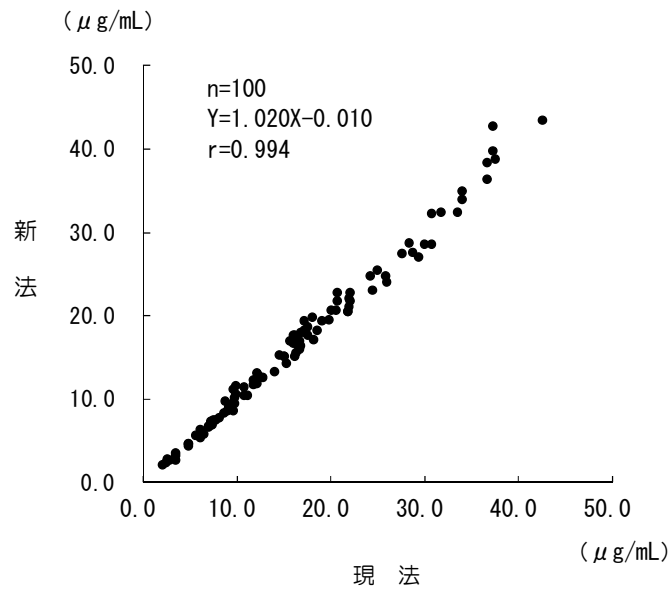
頁	項目コード	検査項目名	変更内容	新	旧	
24	2024	ゾニサミド	検査方法	ラテックス凝集法	HPLC	
			材料・検体量	血清 0.5 mL (血漿の削除)	血清 0.2 mL または 血漿 0.2mL	
			報告範囲	1.0 未満、1.0～999999.9	0.5 以下、0.6～999000.0	
			所要日数	3～6 日	4～7 日	
42	2243	エストラジオール (E <sub>2</sub> )	検査方法	ECLIA	CLIA	
			基準値	本案内の 4 頁をご参照下さい		
			報告範囲	5.0 未満、5.0～99990000	10 未満、10～99900000	
48	2410	DUPAN-2	検体量	血清 0.4mL	血清 0.2mL	
-	2470	シアリル Le <sup>x</sup> 抗原 (CSLEX)	所要日数	3～8 日	3～7 日	
-	6857	ループスアンチコアグラント[リン脂質中和法]	検体の取扱い方	<p>専用容器で採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、パフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。</p> <p>※遠心器回転数の計算式  <math>G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2</math>                      r: 遠心器のローター半径 (cm)                      n: 1 分間あたりの回転数 (rpm)</p>	<p>専用容器で採血し、転倒混和を5～6回繰り返した後、速やかに冷却遠心器を用い1700G以上15分間遠心後、上清の表面よりやや下の部分を1mL採取し、凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。</p> <p>※遠心器回転数の計算式  <math>G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2</math>                      r: 遠心器のローター半径 (cm)                      n: 1 分間あたりの回転数 (rpm)</p>	

※その他の検査要項に変更はございません。

# ゾニサミド

所要日数が短縮可能な自動化試薬に変更させていただきます。

## ■新旧二法の相関



(エスアールエル検討データ)

## ■検査方法参考文献

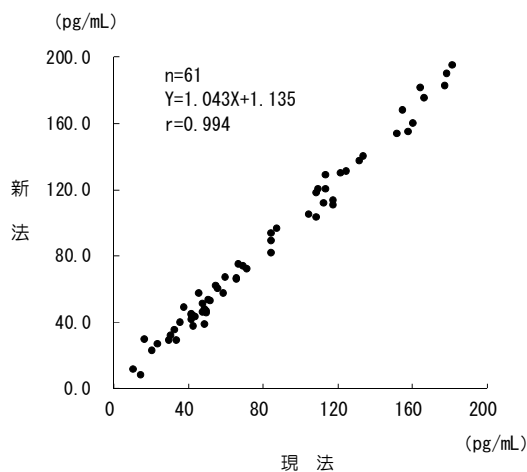
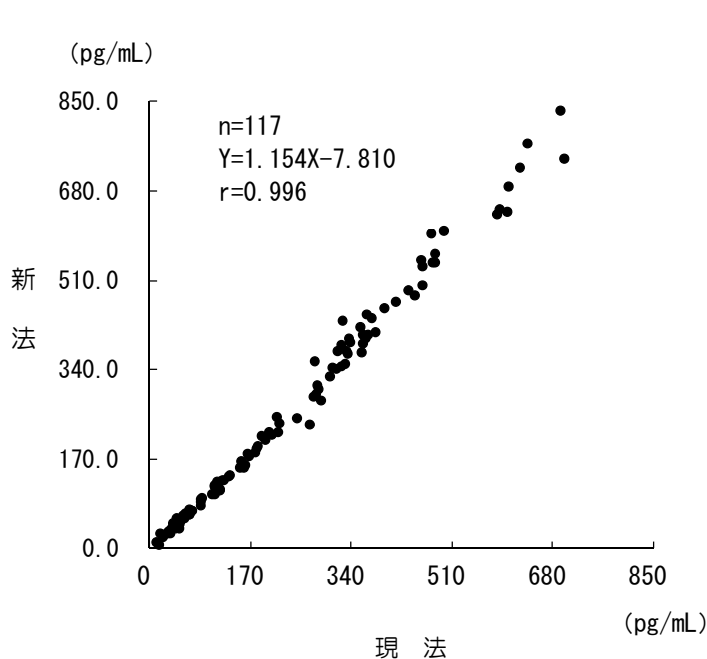
安田 真依,他:医療と検査機器・試薬 38(2):205~210,2015.

## エストラジオール(E<sub>2</sub>)

感度が高い試薬、検査方法へ変更いたします。

併せて、エストラジオール(E<sub>2</sub>)の基準値を再設定させていただきます。

### ■新旧二法の相関



(エスアールエル検討データ)

### ■[2243]エストラジオール(E<sub>2</sub>) 基準値 (単位: pg/mL)

変更後			
非妊婦	女性	卵胞期	28.8~196.8
		排卵期	36.4~525.9
		黄体期	44.1~491.9
		閉経後	47.0 以下
	男性	14.6~48.8	
妊婦	妊娠初期	208.5~4289	
	妊娠中期	2808~28700	
	妊娠後期	9875~31800	



変更前			
非妊婦	女性	卵胞期	22~147
		排卵期	57~509
		黄体中期	56~321
		月経期	7~153
		閉経後	6~37
	男性	10~40	
妊婦	妊娠初期	1130~29200	
	妊娠中期	1110~39700	
	妊娠後期	1760~41600	

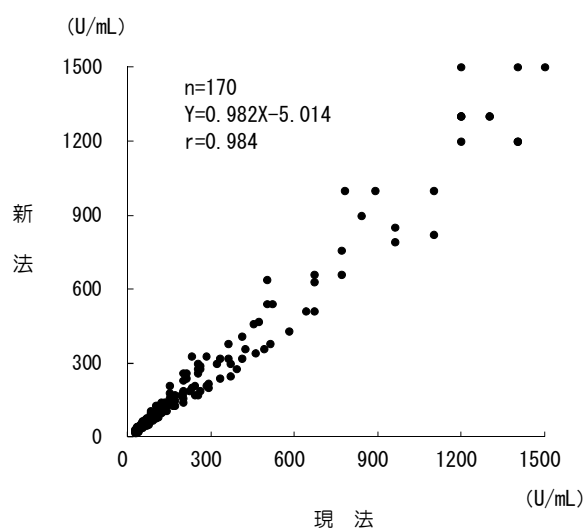
### ■検査方法および基準値参考文献

松崎 利也, 他:医学と薬学 72(5):931~941, 2015.

## DUPAN-2

同一メーカーの改良新試薬へ変更いたします。(現試薬は販売中止となります。)これに伴い、検体量を変更いたします。

### ■新旧二法の相関



(エスアールエル検討データ)

## ループスアンチコアグラント

検体取扱い方法におきまして、日本検査血液学会標準化委員会 凝固検査標準化ワーキンググループの「凝固検体取扱いに関するコンセンサス」に基づいた内容に変更いたします。

### ■検体取扱い方法

採血後、速やかに室温で1500G以上15分間遠心後、バフィーコートより5mm以上うえから血漿を採取して凍結保存にてご提出ください。血小板の混入は、測定結果に影響しますのでご注意ください。

※遠心器回転数の計算式  $G=1.118 \times 10^{-5} \times r \times n^2$

r: 遠心器のローター半径 (cm)

n: 1分間あたりの回転数 (rpm)